

2026 年度同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト  
支援対象学生 募集要項

2025 年 8 月 29 日  
2025 年 9 月 8 日改訂

### ～事業統括からのメッセージ～

本プロジェクトは、科学技術・イノベーションの将来を担う博士後期課程学生を支援するものです。現代社会が抱える問題はいずれも複合的なものであるため、一つの専門領域だけで解決することはできません。専門的な知見を備え、同時に社会の諸課題を俯瞰する力が求められています。本プロジェクトのもとで、課題解決のためのそうした能力を養ってください。

同志社の設立者・新島襄は次のような漢詩を書き記しています。

真理似寒梅敢侵風雪開

(真理は寒梅のごとし。あえて風雪を侵して開く。)

新島は、真理を社会や時代の趨勢に挑戦する力として語っています。そして、このような挑戦する精神を同志社は受け継いでいます。みなさんが次世代を担う、挑戦的な真理の探究者となられることを願っています。

同志社 150 周年、  
その先の未来はあなたの双肩に。  
真理の扉を開き、新たな道を拓け!



同志社大学大学院博士後期課程  
次世代研究者挑戦的研究プロジェクト  
事業統括  
神学部／神学研究科教授  
小原 克博

#### 【改訂履歴】

年月日	箇所	修正内容
2025.9.8	2. プロジェクトの内容	※国による「SPRING の制度見直し」に関する状況を追記。
	5a. 資格喪失	※「資格喪失」となる要件を追記。
	6. 義務	※誤記訂正: 「研究費計画書を毎年度初めに作成し、」
	7. 申請手続き (1) 申請書類	※指定様式の対象を明記。用語も統一。 ①志望理由及び研究計画書(指定様式) ②指導教員からの推薦状(指定様式) ③「英語能力を示す公的スコアの写し」(受験時期が2024年8月以降に限る)または「英語能力証明書の提出免除届」(指定様式) ※申請書類の指定様式は、以下の URL からダウンロードしてください。
	7. 申請手続き(2) 申請書類の作成要領②	※誤記訂正 事前に「 <a href="#">IO</a> 、公募に関する問い合わせ」の質問フォームより、お問合せください。

## 1. プロジェクトの目的

本学は、国立研究開発法人科学技術振興機構の「次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING)」(以下、「本事業」という。)の支援を受け、同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト(以下、「本プロジェクト」という。)を実施します。

本プロジェクトは、科学技術・イノベーションの将来を担う最先端の科学技術の創出能力のみならず、個の尊厳とヒューマニティを損なわない倫理や良心を備えた高度専門人材の育成を目的とします。

本学が理念として掲げる、高い学術研究力による深い学識と卓越した実践能力を用いて時代を切り拓き、異なる価値観・世界観を持つ他者や異文化を理解し、協働できる真の国際人の養成に向け、人文・社会・自然科学の相互理解力を涵養し、グローバルな視点で将来の社会課題を予測しながら解決する研究者の養成を目指します。

## 2. プロジェクトの内容

本プロジェクトに採用された、自由で挑戦的・融合的な研究に意欲的に取り組む大学院博士課程学生(以下、「支援対象学生」という。)に対し、研究活動に専念して研究力の向上を図ることができる環境(研究奨励費等)を整備するとともに、キャリアパスの確保に向けた各種プログラムを一体的に実施します。

★国による SPRING の制度見直し (<https://www.jst.go.jp/report/2025/250709.html>) を受け、本公募で採用された留学生については、支援内容が変更となります。留学生に対する研究奨励費(生活費相当額)の支援は下記の通りとなります。

- ①2026 年度は、研究奨励費(生活費相当額)の支援あり(従来制度)
- ②2027 年度以降は、研究奨励費(生活費相当額)の支援なし(新制度)

※新制度における具体的な支援内容等は、詳細が判明次第、本学 HP、本 Q&A 集等において周知しますので、本プロジェクトに応募を検討している留学生の方は、特にご注意ください。

### (1) 研究奨励費等

採用期間中、研究奨励費:180 万円(年額)と研究費:40 万円(年額)を支給します。

※研究奨励費は、雑所得となるため、各自で確定申告等の手続きが必要となります。

※研究奨励費は、上記の年額を月割計算した金額を支援期間の終了日の属する月まで毎月支給します。

※研究費は、本学において執行管理します。

※研究費は、本プロジェクトにおける公募研究や海外活動のために増額されることがあります。

### (2) 主なプログラム

- ・トランスファラブルスキルの習得
- ・国際性の涵養
- ・挑戦的・融合的な研究に挑む姿勢(挑戦力)の醸成
- ・研究者としての発展を支える総合的支援

※プログラムの詳細につきましては、別添資料「同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト (SPRING) Guide for the Candidates」をご確認ください。

## 3. 採用人数

D1(2026 年度 1 年次生、一貫制博士課程 3 年次生):19 名

D2(2026 年度 2 年次生、一貫制博士課程 4 年次生):若干名

D3(2026年度3年次生、一貫制博士課程5年次生):若干名

※本事業の実施状況によって採用人数が変動する可能性があります。

\*D2 枠、D3 枠の採用人数については、日本学術振興会・特別研究員(DC2)への採用等により欠員が生じた場合のみ募集します。2025年10月中旬を目途に採用予定人数を本学HP上に掲載する予定です。また、本プロジェクトの基となっているJST/SPRING事業の制度見直しの結果によっては、D2 枠、D3 枠の募集を行わないことがあります。

#### 4. 採用期間

D1:標準修業年限\*、かつ2026年4月1日~2029年3月31日までの3年間

D2:標準修業年限\*、かつ2026年4月1日~2028年3月31日までの2年間

D2:標準修業年限\*、かつ2026年4月1日~2027年3月31日までの1年間

\*博士後期課程1年次~3年次又は一貫制博士課程3年次~5年次の3年間を指します。

※本公募で採用された方は、標準修業年限からすでに在学した期間を差し引いた残りの期間が採用期間となります。長期履修制度を利用している場合であっても、標準修業年限を超える期間は支援対象となりません。

#### 5. 応募資格

以下の要件を満たす者とします。

(1) 2026年4月1日現在、以下のいずれかに該当する者。所属研究科や研究分野は問いません。

##### 【D1】

- 区分制の博士課程後期第1年次進学予定者
- 一貫制博士課程第3年次転入学予定者
- 区分制の博士課程後期第1年次相当(在学月数12ヶ月未満)に在学する者
- 一貫制博士課程第3年次相当(在学月数24ヶ月以上36ヶ月未満)に在学する者

##### 【D2】

- 区分制の博士課程後期第2年次相当(在学月数12ヶ月以上24ヶ月未満)に在学する者
- 一貫制の博士課程第4年次相当(在学月数36ヶ月以上48ヶ月未満)に在学する者

##### 【D3】

- 区分制の博士課程後期第3年次相当(在学月数24ヶ月)に在学する者
- 一貫制の博士課程第5年次相当(在学月数48ヶ月)に在学する者

※採用期間が12ヶ月未満となる者は応募できません。

(2) 2026年4月1日時点(採用時点)において、次のいずれにも該当しないこと。

- ① 独立行政法人日本学術振興会特別研究員
- ② 国費外国人留学生等制度による支援を受ける留学生
- ③ 本国からの奨学金等の支援を受ける留学生
- ④ 研究専念義務が生じるその他奨学金、奨励金受給者
- ⑤ 所属機関から生活費相当額として年間240万円を超える給与、役員報酬又はその他の安定的な収入を得ている者
- ⑥ その他本事業の支援対象外となる者

※資格確認のために、収入に関する証明書類等の提出を求めています。

※なお、採用後にこれらの条件に該当する状態になった場合には、支援対象学生としての資格を喪失します。すみやかに「辞退届」を提出してください。

### 【併給が認められる奨学金等】

次の給付制奨学金との併給を認めます。

- ① 同志社大学大学院博士後期課程若手研究者育成奨学金
- ② 同志社大学大学院奨学金
- ③ 同志社大学寄付奨学金
- ④ 同志社大学大学院脳科学研究科特別奨学金
- ⑤ 同志社大学大学院私費外国人留学生授業料減免特別奨学金
- ⑥ 同志社大学私費外国人留学生授業料減免奨学金
- ⑦ 同志社大学私費外国人留生成績優秀者授業料減免奨学金
- ⑧ 独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)奨学金
- ⑨ その他学費への充当を前提とする奨学金

## 5a. 資格喪失

「5. 応募資格」に記載の要件を満たさなくなった場合の他、次の場合にも支援対象学生の資格を喪失します。

- (1) 支援期間中に休学する場合
- (2) 退学等により本学の学籍を失った場合
- (3) 同志社大学学生の懲戒に関する規程に基づき懲戒を受けた場合
- (4) 同志社大学研究活動上の不正行為への対応に関する規定に基づき、不正行為があったとの決定を受けた場合
- (5) SPRING 運営委員会が、本プロジェクトの義務等の履行状況を踏まえ、支援対象学生として不相当と判断した場合

## 6. 義務

支援対象学生は、次に掲げるすべての事項を行わなければなりません。

- (1) 同志社大学研究倫理規準を遵守すること。
- (2) 同志社大学における研究活動上の不正行為への対応に関する規程に定める責務を果たすこと。
- (3) 同志社大学公的研究費の運営・管理に関する規程に基づき研究奨励費等を適正に執行すること。
- (4) 本学及び科学技術振興機構が指定する研究倫理教育を履修すること。
- (5) 事業統括が指定するキャリア形成ガイダンス、企業交流会等のキャリア開発支援プログラムに参加すること。
- (6) 高等研究教育院のアドバンスト・リベラルアーツ科目群に設置するキャリア形成支援科目のうち事業統括が指定する科目を履修すること。
- (7) 自身の研究を発展させる、もしくは研究者としての発展につながる海外活動を計画・立案し、指導教員の確認を得た上で提出すること。
- (8) 科学技術振興機構が本事業のために実施する学生交流会等の諸行事に参加すること。
- (9) 科学技術振興機構及び本学が実施する各種調査に協力すること。
- (10) 学会等への参加、論文の投稿、口頭発表及び研究論文のセルフアーカイブを積極的に行うこと。
- (11) 活動報告書を事業統括に毎年度提出すること。
- (12) 文部科学省科学技術・学術政策研究所(NISTEP)の博士人材データベース(JGRAD)(以下「JGRAD」という。)に登録すること。
- (13) 日本学術振興会・特別研究員に応募すること。

なお、(3)の研究奨励費等の適正な執行のために、自身の研究を大きく発展させるための研究計画と、そのための効果的な研究費の使用についての研究費計画書を毎年度初めに作成し、提出することを求めます。また、(5)の「事業統括が指定するキャリア形成ガイダンス、企業交流会等のキャリア開発支援プログラム」、(6)の「事業統括が指定する科目」は、別途提示する資料を参照してください。

支援対象学生は、本プロジェクトによる支援終了後も次のことをしなければなりません。

- (1) 本学及び科学技術振興機構が実施する博士課程修了後の追跡調査に協力すること。
- (2) JGRAD の情報を逐次更新すること。

## 7. 申請手続き

### (1) 申請書類

以下の申請書類を提出してください。①②③の書類がない場合、申請は受理しません（審査に付きません）。④の書類がない場合、申請は受理しますが、審査において④に関する加点が行われません。

- ① 志望理由及び研究計画書（指定様式）
- ② 指導教員からの推薦状（指定様式）
- ③ 「英語能力を示す公的スコアの写し」（受験時期が2024年8月以降に限る）または「英語能力証明書の提出免除届」（指定様式）
- ④ 2026年度の日本学術振興会・特別研究員（DC）への申請結果（審査結果の写し）

※申請書類の指定様式は、以下の URL からダウンロードしてください。

<https://kikou.doshisha.ac.jp/inside/wakate/sprig/recruitment.html>

### (2) 申請書類の作成要領

#### ① 志望理由及び研究計画書

・本文は10.5ポイント以上で記載すること。

・【志望理由】欄：

本プロジェクトは、既存の枠組みにとらわれない自由で挑戦的・融合的な研究を支援することを目的としています。自身が目指す研究者像を明確にし、それに向けて本プロジェクトをどの様に活かすのか、どの様に取り組むのか、といった視点から志望理由について簡潔に記入してください。

・【海外活動計画】欄：

本プロジェクトでは、研究者としての挑戦性、自立精神を醸成することを目的として、自らの研究課題を海外でどのように発展させるかという海外活動計画を提案していただきます。自身の研究が国際的な研究動向において、どの様な位置付けなのか、その上で自らの研究を発展させるために、どの様な国際的な活動を行っていくかについて具体的に記入してください。

・【研究計画書】欄：

① これまでの研究状況、自身が取り組む研究の位置づけ、当該分野の状況や課題等の背景について記入してください。

② 研究計画における研究目的、研究方法、研究内容（支給される研究費をどの様に利用し、研究の発展を図るのか）について記入してください。

③ 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れて記入してください。

④ 社会課題を解決するアプローチについての構想：社会課題を解決する上で、自己の研究がどの様に活かせるのかについて記入してください。

## ②指導教員からの推薦状

本プロジェクトに採用されると、自らの研究活動に加え、研究者としてのキャリア開発にも取り組んでいただきます。採用後の研究活動とキャリア開発の両立にあたり、あらかじめ指導教員からの推薦状(自筆サイン)をもらって提出してください。

## ③「英語能力を示す公的スコアの写し」または「英語能力証明書の提出免除届」

・本プロジェクトが提供する各種プログラムの受講・参加において支障のない英語能力があることを確認するために、英語能力を証明する公式スコア(英検、TOEFL、IELTS、TOEIC 等)の写しの提出を求めます。公的スコアの写しは、受験時期が2024年8月以降のものに限ります。

・以下の者は、英語能力を証明する公的スコア(写し)の提出を免除します。該当する場合は、「英語能力証明書の提出免除届」(指定様式)を記入の上、提出してください。

-英語を母国語とする国出身の留学生

-主要言語が英語圏の大学・大学院等の高等教育を卒業・修了した者

(免除に該当するか判断できない場合は、事前に「10. 公募に関する問い合わせ」の質問フォームより、お問合せください。)

## ④日本学術振興会・特別研究員への応募および審査結果の写し

・本プロジェクトは、日本学術振興会・特別研究員への応募を強く推奨(「6.義務」を参照)していることから、支援対象学生の選考において、募集対象年度と同年度の日本学術振興会・特別研究員の審査結果を加算します。加算を希望する場合は、2026年度の日本学術振興会・特別研究員の審査結果の写しを提出してください。

・提出にあたっては、審査結果の画面をPDF形式で出力したもの、あるいは画面キャプチャしたJPEG形式のファイルとしてください。

・ファイル作成後、Tスコアが目視できることを必ず確認してください。提出いただいたファイルからTスコアが読み取れない場合は、提出がなかったものとみなします。

## (3)申請方法

所定のフォーム(Microsoft Forms)から電子申請を行ってください。所定のフォーム以外からの申請(郵送、持参、メール等)は、いかなる理由があっても受理しません。

所定フォームへ必要事項を入力し、PDFファイルに変換した「志望理由及び研究計画書」並びに「指導教員からの推薦状」及び「英語能力を示す公的スコアの写し」または「英語能力証明書の提出免除届」をアップロードの上、送信してください。

各ファイル容量は10MB以内とし、ファイル名はそれぞれ、「研究科名\_応募者氏名.pdf」、「研究科名\_応募者氏名\_推薦状.pdf」、「研究科名\_応募者氏名\_英語能力.pdf」としてください。

(例:神学研究科\_同志社太郎.pdf/神学研究科\_同志社太郎\_推薦状.pdf)

《申請書類提出 所定フォーム》

<https://forms.office.com/r/k2MVPXfWkb>

\*なお、所定フォームへのアクセス時に、大学付与のメールアドレスでログインする必要があります。同志社大学のユーザIDをお持ちでない場合には、「11. 連絡先」にその旨ご連絡ください。事務局より、手続き方法についてご案内致します。応募締め切りまでに、フォームの入力並びに書類を提出する必要がありますので、応募をお考えの方は、早めにご連絡ください。

## (4)申請受付期間

2025年12月8日(月)~2026年1月6日(火)12時00分(日本時間:正午)【**締切厳守**】

※いかなる理由があっても、申請受付期間以外の申請は受理しません。余裕をもって申請処理を

実施してください。

## 8. 選考方法

支援対象学生の選考は、「日本学術振興会・特別研究員の審査結果における総合評価 T スコア」（以下、「学振 T スコア」という。）と、「書面審査」および「面接審査」によって付された評点の 3 つの評点を総合した「総合審査」によって実施します。

### (1) 書面審査

書面審査は、以下の選考基準に基づき実施します。

#### 【選考基準】

- (1) 研究者としての素養を有し、明確なビジョンを有すること。
- (2) 研究計画、研究内容が具体的であり妥当性が高く、発展性があること。
- (3) 研究者として明確なキャリアパス計画（海外活動を含む）があること。

### (2) 面接審査

面接審査の対象者は、学振 T スコアおよび書面審査の評点から決定します。面接審査の詳細は、面接審査日の約 2 週間前を目途に、面接審査対象者に E メールにて連絡します。

#### 【面接審査場所・日程】

面接審査場所・日程は下記の通りとします。あらかじめスケジュールを確保してください。理由に拠らず、面接を欠席した場合は、面接審査の評点は加算されません。

開催形態：今出川校地にて対面での開催

開催日程：2026 年 2 月中下旬（予定）

※具体的な日程は、後日、本学・研究開発推進機構 HP にて周知します。

面接時間：1 人 10 分【プレゼンテーション 3 分（時間厳守）+質疑応答（7 分）】

#### 【面接審査の観点】

研究者としての自己分析と、自身の今後の発展・向上計画について、本プロジェクトが重要としている 3 つの観点（研究遂行力、国際性の涵養、トランスファラブルスキルの獲得）から評価します。

事前に提出された「英語能力を示す公的スコア」に基づき、英語能力に不安がある学生に対しては、「どのように英語能力の向上を図るか」、本プロジェクトが提供する「英語能力を前提とする各種プログラムに対してどのように取り組むか」等、能力向上の意欲や計画の具体性等の観点からも評価します。

留学生に対しては、本事業の趣旨に鑑み、留学生の母国ではなく、「日本のイノベーションにどのように寄与できるか」の視点からも評価します。

#### 【面接審査の方法】

あらかじめ提出したプレゼンテーション資料（詳細は以下【プレゼンテーション資料】を参照）を用いて 3 分間のプレゼンテーション（時間厳守）を実施していただきます。発表の途中であっても、3 分の時点で終了としますので、ご注意ください。続いて、審査委員より質疑応答があります。

審査委員は、応募者の研究領域の専門家ではありませんので、専門外の研究者にもわかりやすいプレゼンテーションをお願いします。

#### 【プレゼンテーション資料】

プレゼンテーション資料の様式は自由ですが、原則パワーポイントを使用し、本プロジェクトが重要としている①研究遂行力、②国際性の涵養、③トランスファラブルスキルの獲得の要素を含んだ内容

にしてください。

作成例:

- (研究遂行力) 目指す研究者像、それに向けて行う研究の位置づけ
- (国際性の涵養) 研究者として国際的に活躍するビジョンと海外活動計画
- (トランスファラブルスキル) 研究力以外で必要と考える能力と伸ばすための計画

ファイルは、PDF ファイル (10MB まで) として、事前に提出して頂きます (提出方法や提出締切は、面接対象者への通知メールに記載します)。いかなる理由があっても、差し替えは認めません。あらかじめよく確認の上、ご提出ください。

面接審査対象の連絡からプレゼンテーション資料の提出まで、あまり時間がありませんので、事前に作成しておくことをお勧めします。期限までにプレゼンテーション資料が提出されない場合には、面接審査に付されませんので、ご注意ください。

## 9. 採用決定通知

応募者には採否の結果を 2026年3月上旬までにメールでお知らせします。残念ながら不採用となった応募者には、不採用となった応募者のなかでのおおよその順位をお知らせします。期日までに採否の連絡がない場合は、「11. 連絡先」にご連絡ください。

## 10. 公募に関する問い合わせ

応募資格者からの質問に対して、以下の質問フォームからのみ受け付けます。本公募に関係のない質問には回答しません。また、SPRING 運営事務局への電話やメールによる問い合わせには回答いたしません。

質問フォーム: <https://forms.office.com/r/AzRAVR4QEs>

質問受付期間: ~12月22日(月)12:00(日本時間:正午)まで

回答は、12月26日(金)までに、本学 Webdisk (共有ディスク) を通じて実施します。個別の連絡はしませんので、随時、Webdisk (共有ディスク) に格納された最新ファイルをご確認ください。

※Webdisk (共有ディスク) の URL:

[https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/YK5igNsN\\_RA1zBpDy8-oeX\\_8xBCrUiM5aKxmUmPd\\_ci3](https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/YK5igNsN_RA1zBpDy8-oeX_8xBCrUiM5aKxmUmPd_ci3)

なお、お問い合わせいただいた質問および回答につきましては、公平性の観点から、原則公開させていただきますので、あらかじめご了承ください。

## 11. 連絡先

同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト (SPRING)

運営事務局 (研究開発推進機構・研究企画課)

E-Mail: [dfs-spring@mail.doshisha.ac.jp](mailto:dfs-spring@mail.doshisha.ac.jp)

## 12. その他

本プロジェクトの支援対象学生に採用された場合は、支援対象学生として氏名・研究分野・研究テーマ等を公表します。また、研究成果や活動状況の公表に積極的に協力していただくことが期待されています。

以上